



名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



桜山駅から附属病院玄関までのアプローチに設置されたグリーンカーテン [写真提供]名古屋市立大学 写真部 伊藤 祐基(医学部4年)

特集

名市大未来プラン 着々と進行中!

メディアも注目! 学生の活動紹介

- 「駅ナカ魅力創造プロジェクト」始動
- 食育絵本「とびだせ!おにぎりくん」
- 産学連携「旅行商品開発プロジェクト」

- 01 学長メッセージ/名市大未来プラン
- 02 学生の活動紹介
- 03 TOPICS
- 05 国際交流
- 06 受賞関連/著書・発行物紹介
- 07 イベントカレンダー

DONATION

あなたの力が支えます。

寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄付金を募集しております。

問合せ: 事務局総務課
tel.052-853-8005

名市大未来プラン 着々と進行中!

01

「15年後、名市大は世界をリードする大学になりたい。」

そのような強い思いをこめて「名市大未来プラン」を策定しております。

15年後といえどいぶん先のことのようにですが、名古屋市にリニアモーターカーが開通する頃で、社会は大きく変貌をとげていることでしょう。一方、わが国の大学は、少子高齢化・経済の低成長など急激な社会変化の下、大きな変革期にあります。このような動静を踏まえ、本学は、大学としての本質を見失わず、時流に流されることもなく、絶えず進化し、世界に大きく飛躍せねばなりません。そのような大きな目標や夢に向けて、すべての教職員が心を一にして歩む、それが「未来プラン」です。

ところで、物事を達成するには、「理念、ビジョン、計画、実行」の4つのプロセスが大切だと言われています。未来プランの理念となる「大学憲章」は、10月28日の本学開学記念日に未来プランと同時に公表できればと思います。ビジョンには4つ掲げました。その中で、私がもっとも大切にしたいのは「誇りを持ち、愛される名市大」です。私たちが、名市大で誇りを持って働き学ぶことにより、社会から感謝され、幸せになることが未来プランの究極の目的だと思うからです。計画は52項目からなります。そ

れらを「計画倒れに終わらせない」気力と実行力がこれからは大切で、そのためにも教職員や学生が主体的に取りくむ環境づくりに努めます。

「名市大は15年後に世界をリードする大学に必ずなる。」

その思いに向けて、皆様からの温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

名古屋市立大学
理事長 学長
郡 健二郎

名市大未来プラン 4つのビジョン

名古屋市が設置した公立の総合大学として、本学が今後も発展を遂げていくために、次の4つのビジョンを重視しながら、大学・附属病院の運営に取り組んでいきます。

VISION-01

誇りを持ち、愛される名市大

教育・研究・診療の環境づくり

全ての市民、学生、教職員、同窓生、その家族が誇りに思い、愛情の持てる名市大を目指し、そのための環境づくりを行います。

VISION-02

名古屋市と共に発展する名市大

名市大の明るい未来づくり

15年先を見すえた名古屋市総合計画2018に記載される名市大の取組みを踏まえ、名古屋市との強い連携のもとに未来像の実現に取り組みます。

VISION-03

戦略性を持って世界に飛躍する名市大

和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり

世界的な研究教育拠点を目指し、経営や設備の高度化・最新化を図るなど、戦略性をもって挑戦します。

VISION-04

経営基盤が安定した名市大

経営改善に向けた体制づくり

本学の厳しい財務状況を踏まえ、教職員が収入の増加や経費の節減を図るとともに、名古屋市においても支援が拡充されるよう、十分に協議します。

メディアも注目！学生の活動紹介

02



意気込みを語る下野ゼミの学生代表
(キックオフセレモニー)



市交通局職員と意見交換を行う山本ゼミの学生
(中間報告会)

名市大 × 名古屋市交通局

「駅ナカ魅力創造プロジェクト」始動

本学の経済学部が市交通局と連携し、上前津駅をモデル駅として、乗客や地域のニーズをふまえて、若者が集うにぎわいのある駅を目指し、学生が社会実験を経て、アイデアを提案します。

プロジェクトに参加するのは市交通局から任命された学生サポーター24名。7月18日(金)には中間報告会を行い、学生たちからは現地調査結果をもとにしたユニークな提案が行われ、参加した市交通局職員と活発な意見交換がなされました。

紹介
メディア

NHK名古屋 5/9(金)

- ほっとイブニング
- 845ニュース

メーテレ 5/9(金)

- UP!
- メーテレニュース

テレビ愛知 5/9(金)

- NEWSアンサー

東海テレビ 5/9(金)

- LIVE2014ニュース JAPAN&すぼると!

読売新聞朝刊 5/10(土)

中日新聞夕刊 7/8(火)

学生による食育絵本

「とびだせ!! おにぎりくん」作成

人間文化研究科山田美香教授のゼミ生9名が、朝食を摂らない子どもが増えていることに着目し、食育をテーマにした絵本を作成しました。主人公のおにぎりくんとみそしる先生が、しっかりと朝ごはんを食べることの大切さを子どもたちに伝えます。絵本は、愛知県立図書館、名古屋市立図書館のほか、本学学生が実習でお世話になった幼稚園、保育園にも寄贈予定です。



紹介
メディア

中日新聞朝刊
5/30(金)



名市大・日本航空・名鉄観光 産学連携コラボ企画

「旅行商品開発プロジェクト」

本学の経済学部の学生たちが、日本航空(株)および名鉄観光サービス(株)と協力し、「名古屋の人々がわくわくして行きたくなる夏旅」をプロデュースする産学連携コラボ企画「旅行商品開発プロジェクト」がスタートしました。実際に日本航空、名鉄観光サービスにプレゼンテーションをし、審査の結果、グランプリを獲得した「わく旅プラン」は、来夏の旅行商品として造成・販売する予定です。



紹介
メディア

日経新聞朝刊
6/13(金)・6/19(木)

中部経済新聞朝刊
6/20(金)

北海道新聞朝刊
7/19(土)

TOPICS

STUDY RESULTS

ヒトはなぜ老いるのか？ 世界初「老化メカニズム」を解明！

本学医学研究科細胞生化学分野の中西真教授らの研究グループは、世界で初めて細胞を老化に導くメカニズムを解明し、この成果が、米国の学術誌「モレキュラー・セル(Molecular Cell)」電子版に掲載されました。「ヒトはなぜ老いるのか？」これは生命科学にとり最も大きな命題の一つです。これまで老化の原因として、具体的なメカニズムについてはほとんど分かっていませんでした。

今回の研究で、正常細胞はあらゆる老化刺激(テロメア短小化、DNA損傷、酸化ストレス等)を受けると、がん抑制遺伝子産物であるp53とRbタンパク質の協調作用により細胞周期進行の異常を引き起こし、強制的に細胞分裂期が回避せられる事が分かりました。これにより、通常の2倍のDNA量を持った細胞になり、これが老化細胞の本体である事が明らかになりました。この成果は、「老化」、「老年病」予防法の開発に繋がるのみならず、「新たなガン治療戦略の開発」に役立つと考えられます。

的に細胞分裂期が回避せられる事が分かりました。これにより、通常の2倍のDNA量を持った細胞になり、これが老化細胞の本体である事が明らかになりました。この成果は、「老化」、「老年病」予防法の開発に繋がるのみならず、「新たなガン治療戦略の開発」に役立つと考えられます。

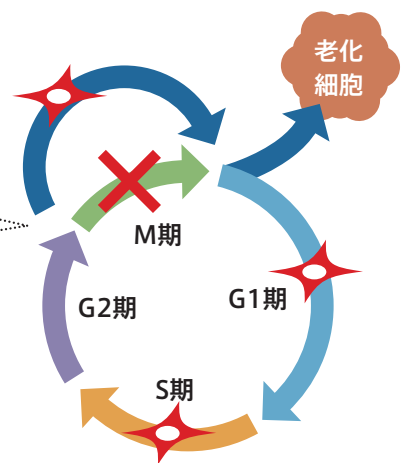
がん抑制遺伝子
(p53、Rb)の作用

研究成果を用いた今後の展開は？

人為的に老化をコントロール可能なモデル動物の作製が可能と考えられます。個体レベルでの「アンチエイジング」あるいは老年病予防薬の開発、さらには新たな抗がん剤の開発が期待できます。またヒトの遺伝的疾患である「早老症」の解明を強く促進するものと予想されます。



医学研究科
細胞生化学分野
中西 真
教授



TOPICS

STUDY RESULTS

3次元高精細度造形機(3Dプリンター)による 臓器立体模型を「生体肺移植術式」に提供！

2014年3月上旬、芸術工学研究科 國本桂史教授と医学研究科 武田裕講師らの研究グループが3Dプリンターで作成した臓器立体模型を、京都大学医学部附属病院で実施された世界初の生体肺移植術式による手術へ提供し、無事成功を収めました。この手術は、臓器提供者である夫の右下葉

を患者である妻の左肺として移植する世界初の術式によるもので、手術をより安全・確実に行うため、肺移植の臓器提供者及び患者のCT画像データをもとに、非常に精度の高い肺の胸腔モデルを3Dプリンターで再現し、事前に手順を確認できたことが手術の成功を導きました。



3Dプリンターで作成した
肺胸腔モデル

「医療デザイン研究センター」を開設！

こうした革新的な研究開発が評価され、本学は経済産業省「大学におけるオープンプラットフォーム構築支援事業」に採択されました。新たに桜山(川澄)キャンパスの西棟に開設する「医療デザイン研究センター」を拠点とし、産官学連携のもと、3Dプリンターを駆使して医療機器の研究開発事業を推進していきます。



芸術工学研究科
國本 桂史
教授



医学研究科
武田 裕
講師

TOPICS

DATE 5.26

「地域包括ケアシステム」構築に向けて健康福祉局と連携協定！

本学は、緑区鳴子地区において「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』」事業を推進しており、総合診療医など将来の超高齢化社会に対応できる医療人の養成に向け、名古屋学院大学と名古屋工業大学と連携して事業を展開しています。一方、名古屋市においては、認知症や要介護高齢者など支援が必要な高齢者が確実に増加するものと見込まれています。そのため、高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で人生の最後まで安心して暮らすことができるよう、「地域包括ケアシステム」の構築が喫緊の課題となっています。こうしたことから、「なごやかモデル」の推進及び「地域包括ケアシステム」の構築に向けて名古屋市（健康福祉局）と連携協定を締結しました。



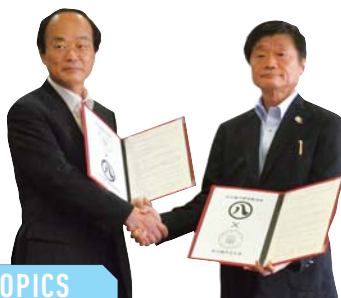
TOPICS

DATE 6.17

「名古屋市教育委員会」と連携協力協定を締結！

近年、本学では、出前講座、市工芸高校と芸術工学部との連携授業、医学部体験学習会等の高大連携の取り組みのほか、「大学連携講座」の開催、また名古屋市博物館でのイベントに本学の学生が関わるなど、教育委員会との連携を深めています。今後、「子ども応援委員会」への協力をすすめるなど、連携をさらに充実したものとしていくため、名古屋市教育委員会と連携協力に関する協定を締結しました。

下田教育長(右)と郡学長(左)



TOPICS

DATE 7.5

「ESD大学生リレー・シンポジウム」にて本学学生がプレゼン！

愛知県下49の大学から構成される愛知学長懇話会は、持続可能な未来社会を構想し担う若者を育成することが大学の使命と考え、2014年11月に名古屋国際会議場で開催される「ESDユネスコ世界会議あいち・なごや」を成功させるために「ESD大学生リレー・シンポジウム」を実施しています。第4回目は「経済と持続可能性」をテーマとし、7月5日(土)に名古屋市立大学を会場として開催され、本学をはじめ、6大学の学生たちが日頃の勉強・研究・実践の成果をESDの視点で捉え直してプレゼンテーションを行いました。



TOPICS

DATE 7.19-21

滝子(山の畑)キャンパスにて「愛知サマーセミナー2014」開催！

1989年より20年以上続いている市民参加型セミナー「愛知サマーセミナー2014」が開催され、今年度は本学も滝子(山の畑)キャンパスを会場として開放し、本学教員による講座が多数実施されました。



経済学研究科 横山和輝准教授による講座の様子

愛知サマーセミナーとは？

愛知県私立高校に通う高校生、教師、保護者、卒業生、一般市民の有志から構成される実行委員会が企画運営する市民参加型セミナー。『誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校。教えたいことを教え、学びたいことを学ぶ「夢の学校」』をコンセプトに、2000を超える多彩でユニークな講座を開講しています。

TOPICS

DATE 8.8

「ようこそ大学へ！プロジェクト—施設の子どもたちへの学習支援—」開催！

本企画は、児童養護施設等で生活する子どもたちの大学体験企画です。人文社会学部(谷口由希子研究室)を中心とした在学生ボランティア50名が、昨年に引き続き実施しました。学習支援とともに、教授カフェ(研究室訪問)・心理学実験体験や学食体験など、子どもたちが大学の雰囲気を感じること、子どもたちが大学の雰囲気を感じること、子どもたちが大学の雰囲気を感じることなどを目的としています。当日は名古屋市の岩城正光副市長も参加し、「勉強を好きになる秘訣は、夢を持つこと」と参加した50名の子どもたちに語りかけました。



子どもたちとお話する岩城副市長

TOPICS

DATE 7.19-8.16

名市大4キャンパスにて「オープンキャンパス」開催！

本学各学部において、夏のオープンキャンパスを開催いたしました。今年も多くの受験生とご家族にご参加いただき、教員や在学生による公開授業、相談会、ゼミ紹介など、それぞれの学部が趣向を凝らしたプログラムを行い、参加者に名市大のキャンパスライフを体験していただくことができました。



人文社会学部
保育デモンストレーションの様子(上)
経済学部
学科紹介の様子(下)



国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

臨沂大学から表敬訪問

中国

臨沂大学

5月30日(金)、本学22世紀研究所の丁偉儒特任教授が兼任教授を務める、中国臨沂大学の代表団が本学を表敬訪問しました。将来の協定締結に向けて、お互いの研究成果の共有や交流の可能性を議論しました。

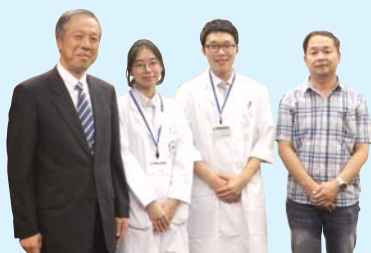


ハリム大学医学部生による短期臨床研修

韓国

ハリム大学

医学部



7月7日(月)より、韓国の協定校であるハリム大学から2名の医学部生を受入れ、本学附属病院にて4週間の臨床研修を実施しました。病院での研修のほか、本学医学部生と交流する様子も見られました。

ハンス・ツチュク教授「電子音響音楽の現在」開催

アメリカ

ハーバード大学

芸術工学部

7月1日(火)、作曲家でハーバード大学教授のハンス・ツチュク先生が芸術工学部に来校され、講演とコンサートが行われました。「電子音響音楽」という新しい芸術音楽について、ご自身の活動やハーバードでの教育のことなどをわかりやすく語ってくださり、芸術工学部の学生や学外から駆けつけた方々、約30名が興味津々で耳を傾けました。「電子音響音楽」は、「耳のための映画」とも言われています。音を聴くことに集中し、聴く人それぞれに、音からイメージをふくらませていく、その過程がまさに映画となって立ち現れてきます。



この日、上演された3曲の音素材は、それぞれどのような現場で録音されて、どのような考えで加工・編集されてきたのか、ツチュク先生は丁寧に説明されました。最新技術とともに、サウンドと音楽に関する先生の熱い思いに圧倒された2時間でした。

講演中のツチュク先生

サント・トーマス大学から表敬訪問

フィリピン

サント・トーマス大学

6月24日(火)、フィリピンの協定校であるサント・トーマス大学より、マリベル・ノナト学長補佐ほか7名の教職員が本学を表敬訪問しました。当日は今泉理事を始め、医学・薬学・システム自然科学各研究科の教員が出席し、今後の学生・教員間での交流の方向性などについて議論しました。附属病院や各施設の見学、サクラサイドテラスでの歓迎会など、充実の1日となりました。



記念品贈呈の様子



米国訪日団の学生と名古屋城 本丸御殿の障壁画を見学

アメリカ

マサチューセッツ芸術大学・シンシナティ大学

芸術工学部

日本国際協力センターが主催する青少年交流事業『KAKEHASHI Project』の一環で、日本の芸術を学ぶために来日中の米国マサチューセッツ芸術大学・シンシナティ大学の学生24名が、6月16日(月)本学芸術工学部を訪問し、学生たちと一緒に名古屋城を見学しました。



留学生懇親会を開催!

7月4日(金)、滝子(山の畑)キャンパス学生会館大ホールにて、留学生懇親会が開催されました。オーケストラ部や邦楽部の演奏が会場を盛り上げ、在学生や教職員との楽しい交流の場となりました。



PRIZE 受賞

■医学研究科



第21回 日本集中治療医学会
東海北陸地方会 優秀演題賞
麻酔・危機管理医学分野
シニアレジデント
辻 達也



第14回 日本抗加齢
医学会総会
Young Investigator Award
臨床薬理学分野
助教 **片岡 智哉**



29th CINP(The International College
of Neuropsychopharmacology) World
Congress of Neuropsychopharmacology
/ Poster Award
精神・認知・行動医学分野
臨床研究医 **川口 彰子**



第2回 日本小児泌尿器科学会
優秀論文賞(臨床研究部門)
腎・泌尿器科学分野
准教授 **林 祐太郎**



第2回 日本小児泌尿器科学会
優秀論文賞
(基礎研究部門/症例部門)
腎・泌尿器科学分野
講師 **水野 健太郎**



第23回 日本小児泌尿器科学会
学会賞
(基礎部門)(症例報告部門)
腎・泌尿器科学分野
研究員 **西尾 英紀**

■経済学研究科



2013年度
不動産学会論文賞
准教授 **伊藤 亮**



The 20th International Conference
on Electrical Engineering (ICEE)
/ Best Paper Award
教授 **三澤 哲也**

■人間文化研究科



Best Paper Award of The 2014
IAENG International Conference
on Operations Research
教授 **矢野 均**

※受賞期間:2014年5月1日~2014年7月31日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に表示。

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

■個人

- 100,000円以上 辻 勇夫 様
- 50,000円以上 大林 祥悟 様、奥村 雅史 様、
榊原 仁作 様、水谷 秀樹 様
- 20,000円以上 田中 喜夫 様、松野 恒夫 様
- 10,000円以上 大島 義広 様、落合 則正 様、
神谷 知明 様、近藤 敏之 様、
櫻井 雅敏 様、鈴木 規元 様、
田島 収 様、水谷 良雄 様
- 5,000円以上 青山 達也 様、加藤 典夫 様、
木村 昭代 様、杉浦 廣道 様、
竹中 佳代子 様、竹中 孝久 様、
中野 聡子 様、村瀬 著茂子 様、
村瀬 直樹 様
- 3,000円以上 千原 陽子 様
- 非公表 東 弘 様、影山 加恵 様、
木村 英次 様、作田 一実 様、
高橋 辰政 様、角田 隆太郎 様、
中嶋 敏哉 様、仲野 隆子 様、
根津 永二 様、林 直温 様、
坂野 達明 様、廣瀬 光彦 様、
福重 元嗣 様、堀田 誠 様、
室殿 豊 様、横井 啓亮 様

■団体

- 200,000円 東海岩手県人会 様
- 100,000円 水上元教授定年退職記念事業会 様

※五十音順、2014年4月1日から6月30日までに寄附いただき、公表に同意された方。



最近発行された教員の著書・発行物等を紹介いたします。

●教職員の皆様へ…本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。



グローバル社会を歩く⑧
**「発電ダムが建設された時代
～聞き書き 御母衣ダムの記憶～」**

人間文化研究科
准教授 **浜本 篤史**

2014年5月 新泉社

BOOK 01

御母衣(みほろ)ダムとは、岐阜県飛騨地方において1961年に完成した戦後日本を代表する発電ダムの一つである。このダム建設が、地域住民や移転者らにとって、果たしてどのような意味をもったのだろうか。約半世紀前の出来事を振り返りながら、その一端を明らかにすることが本書の狙いである。

本書には、建設当時に旅館女将、小学校教諭、配送業者、用地職員だった人、そして東京や名古屋に移住した人など計9名が登場する。これらの人々の「語り」を通じて、ダム以前の地域社会の暮らしぶり、建設現場に出現した商店街の活況と治安悪化、用地取得の苦勞、そしてアパートやホテル経営などに従事した移住者の生活再建など、ダム建設の社会的側面が時代状況とともに浮き彫りになっている。



ESDブックレット2
「ESDと次世代育成の教育論」

人間文化研究科
教授 **山田 美香** 教授 **原田 信之**
准教授 **上田 敏丈** 准教授 **古賀弘之**

2014年5月 風媒社

BOOK 02

本書は『ESDと大学』(2013)に続く名古屋市立大学人間文化研究科教員が執筆したブックレット第二号である。ESD科目の選択必修授業「次世代育成の教育論」で用いるテキストとして、学齢期の教育課題を中心に、すべての子どもが社会参加できる持続可能な社会の形成のための理論と昨年度の本学における授業実践を整理した。

理論編では、「ESDと次世代に育成する学力」「いじめとESD」について解説し、授業実践編では「少年犯罪とESD」「発達障害とESD」でグループワーク、プレゼンテーションを重視した授業を紹介した。来年度以降も本ブックレットをもとに、ESD科目として授業を充実させたいと考えている。

イベント参加者募集!

名古屋市長が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

イベント名	開催日時	場所		
市民公開講座 各講座 500円	第1講座(医学研究科):健康寿命をのばすためにできること	11/22(土) 13:00~17:00	桜山(川澄)キャンパス	
	第2講座(薬学研究科):身近なくすりの「常識」と「誤解」と「未来」	11/1(土) 13:00~16:20	田辺通キャンパス	
	第3講座(経済学研究科):少子高齢化と日本経済・年金に与える影響	11/24(月・祝) 13:00~15:00	滝子(山の畑)キャンパス	
	第4講座(人間文化研究科): Open the Door to the World 一豊かに生きるために	A:ハリウッド・ポッター物語の歴史的背景	10/18(土) 13:00~14:30	滝子(山の畑)キャンパス
		B:アメリカン・ドリームのかたち	11/8(土) 14:00~15:30	
	第5講座(芸術工学研究科):情報社会における身体 ~コンピュータと身体はいかにしてつながるか?~	10/25(土) 13:30~16:00	北千種キャンパス	
	第6講座(看護学部):がんと上手につきあう	12/6(土) 13:30~15:00	桜山(川澄)キャンパス	
第7講座(システム自然科学研究科):食の安全・安心にかかわる最先端科学 ~混入異物と遺伝子操作~	11/8(土) 10:00~12:00	桜山(川澄)キャンパス		
授業公開 各講座 3,000円	①経済学部「国際経営論」全15回	9/24(水)~来年1/22(木) 詳しい日時はホームページ をご覧ください。	滝子(山の畑)キャンパス	
	②人文社会学部「アメリカ政治史」全15回		滝子(山の畑)キャンパス	
	③人文社会学部「名古屋と観光」全15回		滝子(山の畑)キャンパス	
	④芸術工学部「美術・デザイン論」全15回		北千種キャンパス	
	⑤看護学部「看護学概論II」全7回 ※別途、教科書をご購入いただけます。		桜山(川澄)キャンパス	
医学研究科 医療・保健 学びなおし講座(秋期:9月~12月) 学内外講師による急性期・災害医療、発達障害、周産期医療の各講座は それぞれ15回の講義(一部実習を含む)。 14,800円(1講座につき) ※託児サービス有(2,000円/回)	9/2(火)~(毎週 火・水・木) 18:30~20:00	桜山(川澄)キャンパス 医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A、 西棟 1階 臨床シミュレーションセンター		
医学研究科 最新医学講座オープンカレッジ 心血管病最前線~予防から先端治療まで~ 8,000円(受講料。開講初日に徴収)	9/5~10/24 (各金曜日・全8回) 18:30~20:00	桜山(川澄)キャンパス 医学研究科・医学部研究棟11階 講義室A		
薬学研究科 秋の薬用植物園市民公開講座 500円	10/3(金)・4(土) 10:00~12:00	田辺通キャンパス内薬用植物園		
サイエンスカフェ in 名古屋 600円 (コーヒー・紅茶・ジュース +お菓子)	第91回「心の進化」 講師:システム自然科学研究科 准教授 村瀬 香	9/19(金) 18:00~20:00		
	第92回「水が凍ると熱が出る? ~身近な物質、その結晶化の不思議~」 講師:システム自然科学研究科 准教授 三浦 均	10/17(金) 18:00~20:00	ナディアパーク7階(中区栄) 7th cafe(セブンスカフェ)	
	第93回「ことばを聴く脳、聞き流す機械」 講師:システム自然科学研究科 教授 中村 篤	11/21(金) 18:00~20:00		
Human & Social サイエンスカフェ 1,000円 (スイーツ盛合わせ +お飲み物代)	第67回 シリーズ「日本」を考える(3) 「日本思想史における不干斎ハビアンー位置づけの問題を中心に」 講師:人間文化研究科 准教授 ジェームズ・パスキンド	10/18(土) 15:00~17:00	カフェ「サクラサイドテラス」 (桜山(川澄)キャンパス西棟1階)	
	第68回 シリーズ「日本」を考える(4) 「日本文学に見る他界観」 講師:人間文化研究科 准教授 土屋有里子	12/20(土) 15:00~17:00		
人間文化研究所・人文社会学部主催 ESD公開シンポジウム 無料 「中部の『里山資本主義』」	11/8(土) 16:00~18:20	滝子(山の畑)キャンパス 1号館 201教室		
看護学部 なごや看護生涯学習公開講演会 500円 「これだけは知っておきたい認知症ケア」	11/19(水) 18:00~19:30	桜山(川澄)キャンパス 病院大ホール (病棟・中央診療棟3階)		
経済学研究科 第19回公開シンポジウム 無料 「地域企業の国際化一尾張と三河、繊維と自動車産業の比較」	11/22(土) 14:30~16:30	桜山(川澄)キャンパス 病院大ホール (病棟・中央診療棟3階)		

10月28日(火)は
開学記念日



NCU FES.

大学祭 2014 開催

10/18 SAT → 11/16 SUN

芸工祭 北千種 キャンパス 10/18・19 SAT SUN	薬学祭 田辺通 キャンパス 10/25・26 SAT SUN	川澄祭 桜山(川澄) キャンパス 11/1・2 SAT SUN	市大祭 滝子(山の畑) キャンパス 11/15・16 SAT SUN
--	--	---	--

ご意見・情報
募集中!

< 本学教職員の皆さまへ >
広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。
また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

ご協力ください
敷地内・周辺道路は禁煙です。

